



## 2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年2月10日

上場会社名 リバーエレテック株式会社  
 コード番号 6666 URL <https://www.river-ele.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 若尾 富士男

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務本部長 (氏名) 天野 伸幸

TEL 0551 - 22 - 1211

四半期報告書提出予定日 2023年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	5,796	6.9	1,112	11.7	1,200	21.0	783	5.5
2022年3月期第3四半期	5,420	35.8	995	155.3	991	183.5	829	137.5

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 995百万円 (8.7%) 2022年3月期第3四半期 915百万円 (171.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	90.83	
2022年3月期第3四半期	98.35	98.19

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	9,926	4,789	48.2	554.93
2022年3月期	9,142	3,905	42.7	452.55

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 4,789百万円 2022年3月期 3,905百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		5.00		8.00	13.00
2023年3月期		5.00			
2023年3月期(予想)				8.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,520	1.4	1,205	3.1	1,280	2.5	1,096	1.3	127.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	8,692,652 株	2022年3月期	8,692,652 株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	62,598 株	2022年3月期	62,598 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	8,630,054 株	2022年3月期3Q	8,438,809 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における経済環境は、社会活動の正常化が進み、緩やかに持ち直しの傾向にあります。中国のゼロコロナ政策の影響からサプライチェーンの混乱による供給制限によって生産活動への影響が深刻化しております。また、ウクライナ情勢の混迷や原材料やエネルギー価格の高騰、円安による物価の上昇等により、景気の先行きについては依然として不透明な状態が続いております。

このような状況のもと、当社グループでは強みを活かした「選択と集中」を進め、さらなる持続的な成長に向けて主力製品である音叉型水晶振動子の生産と販売の強化に努めました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、5,796,855千円（前年同期比6.9%増）となりました。また利益につきましては、営業利益は1,112,287千円（前年同期比11.7%増）、経常利益は1,200,403千円（前年同期比21.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は783,857千円（前年同期比5.5%減）となりました。売上高営業利益率は、19.2%と高い水準で推移しております。

新型コロナウイルス感染症については、現時点における当社グループの業績への影響は軽微であります。中国ゼロコロナ政策にともなうサプライチェーンの混乱等により、依然として予断を許さない状況であります。今後も感染対策を継続するとともに動向を注視してまいります。

なお、当社グループの報告セグメントは水晶製品事業のみであり、その他の電子部品事業の重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、現金及び預金の増加486,625千円、受取手形及び売掛金の減少365,507千円、原材料及び貯蔵品の増加446,785千円、建設仮勘定の増加337,189千円、繰延税金資産271,175千円の減少等により、前連結会計年度末から784,107千円増加し、9,926,463千円となりました。

負債合計は、未払法人税等の減少112,285千円、設備関係支払手形の減少157,523千円、設備関係電子記録債務の増加215,660千円、長期借入金128,988千円の増加等により、前連結会計年度末から99,495千円減少し、5,137,368千円となりました。

純資産合計は、利益剰余金の増加671,666千円、為替換算調整勘定209,170千円の増加等により、前連結会計年度末から883,602千円増加し、4,789,095千円となりました。

#### キャッシュ・フローの状況

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において営業活動の結果獲得した資金は1,134,919千円（前年同期は598,198千円の獲得）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益1,197,070千円、減価償却費420,071千円、売上債権の減少466,430千円、棚卸資産の増加621,989千円、法人税等の支払額263,508千円等によるものであります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は717,779千円（前年同期は1,007,899千円の使用）となりました。これは主に定期預金の預入による支出724,236千円、定期預金の払戻による収入716,888千円、有形固定資産の取得による支出694,028千円等によるものであります。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は117,726千円（前年同期は704,389千円の獲得）となりました。これは主に長期借入れによる収入800,000千円、長期借入金の返済による支出725,392千円、配当金の支払額112,190千円等によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点における通期の業績予想につきましては、2022年11月11日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。今後業績予想に修正の必要が生じた場合は速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,931,614	2,418,239
受取手形及び売掛金	1,665,910	1,300,403
商品及び製品	27,202	102,886
仕掛品	488,588	601,616
原材料及び貯蔵品	767,563	1,214,348
その他	472,608	376,721
貸倒引当金	△26,768	△32,392
流動資産合計	5,326,719	5,981,824
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	407,650	471,259
機械装置及び運搬具(純額)	1,914,419	1,879,080
工具、器具及び備品(純額)	110,821	142,198
土地	415,429	415,429
リース資産(純額)	102,543	108,592
建設仮勘定	369,051	706,240
有形固定資産合計	3,319,915	3,722,801
無形固定資産		
ソフトウェア	6,111	4,945
その他	9,466	9,466
無形固定資産合計	15,577	14,411
投資その他の資産		
投資有価証券	68,617	74,813
繰延税金資産	301,925	30,750
その他	109,600	101,862
投資その他の資産合計	480,143	207,426
固定資産合計	3,815,637	3,944,639
資産合計	9,142,356	9,926,463

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	388,439	347,938
短期借入金	663,748	598,611
1年内返済予定の長期借入金	998,462	944,082
未払法人税等	179,257	66,971
賞与引当金	166,083	83,981
役員賞与引当金	33,768	16,884
設備関係支払手形	266,013	108,489
設備関係電子記録債務	17,193	232,853
その他	368,426	434,862
流動負債合計	3,081,392	2,834,674
固定負債		
長期借入金	1,662,952	1,791,940
繰延税金負債	195	2,007
役員退職慰労引当金	120,880	127,890
退職給付に係る負債	288,164	294,239
その他	83,278	86,616
固定負債合計	2,155,470	2,302,693
負債合計	5,236,863	5,137,368
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,681,829	1,681,829
資本剰余金	643,845	643,845
利益剰余金	1,630,636	2,302,303
自己株式	△9,304	△9,304
株主資本合計	3,947,006	4,618,673
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,264	4,029
為替換算調整勘定	△42,778	166,392
その他の包括利益累計額合計	△41,513	170,422
純資産合計	3,905,493	4,789,095
負債純資産合計	9,142,356	9,926,463

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	5,420,211	5,796,855
売上原価	3,520,918	3,679,481
売上総利益	1,899,293	2,117,373
販売費及び一般管理費	903,929	1,005,085
営業利益	995,363	1,112,287
営業外収益		
受取利息	892	3,079
受取配当金	1,963	2,240
為替差益	21,368	106,920
技術指導料	20,000	-
その他	8,381	13,561
営業外収益合計	52,605	125,800
営業外費用		
支払利息	47,055	35,224
株式交付費	6,778	-
その他	2,410	2,460
営業外費用合計	56,244	37,685
経常利益	991,724	1,200,403
特別利益		
固定資産売却益	245	-
受取保険金	-	8,538
特別利益合計	245	8,538
特別損失		
固定資産除却損	1,298	11,871
投資有価証券評価損	97	-
投資有価証券売却損	11	-
特別損失合計	1,406	11,871
税金等調整前四半期純利益	990,562	1,197,070
法人税、住民税及び事業税	163,927	138,941
法人税等調整額	△3,280	274,271
法人税等合計	160,646	413,212
四半期純利益	829,915	783,857
親会社株主に帰属する四半期純利益	829,915	783,857

## (四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	829,915	783,857
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,987	2,764
為替換算調整勘定	87,834	209,170
その他の包括利益合計	85,846	211,935
四半期包括利益	915,762	995,792
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	915,762	995,792



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	990,562	1,197,070
減価償却費	414,991	420,071
貸倒引当金の増減額(△は減少)	237	△217
賞与引当金の増減額(△は減少)	△23,398	△82,683
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	-	△16,884
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△4,810	7,010
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△934	6,075
受取利息及び受取配当金	△2,855	△5,319
支払利息	47,055	35,224
為替差損益(△は益)	△28,068	△87,646
有形固定資産売却損益(△は益)	△245	-
有形固定資産除却損	1,298	11,871
投資有価証券売却損益(△は益)	11	-
投資有価証券評価損益(△は益)	97	-
株式交付費	6,778	-
受取保険金	-	△8,538
売上債権の増減額(△は増加)	△337,876	466,430
棚卸資産の増減額(△は増加)	△155,171	△621,989
仕入債務の増減額(△は減少)	34,015	△42,250
未収入金の増減額(△は増加)	△2,585	2,875
未払金の増減額(△は減少)	△286	△495
前受金の増減額(△は減少)	△145,966	140
未収消費税等の増減額(△は増加)	△25,714	87,604
その他	2,106	48,589
小計	769,241	1,416,937
利息及び配当金の受取額	2,853	5,317
利息の支払額	△44,936	△32,364
法人税等の支払額	△128,959	△263,508
保険金の受取額	-	8,538
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>598,198</b>	<b>1,134,919</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△571,890	△724,236
定期預金の払戻による収入	563,760	716,888
有形固定資産の取得による支出	△992,472	△694,028
有形固定資産の除却による支出	-	△11,871
有形固定資産の売却による収入	2,064	-
無形固定資産の取得による支出	△5,249	-
投資有価証券の取得による支出	△4,616	△4,659
投資有価証券の売却による収入	17	-
その他	487	128
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△1,007,899</b>	<b>△717,779</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△325,015	△65,136
長期借入れによる収入	900,000	800,000
長期借入金の返済による支出	△884,794	△725,392
リース債務の返済による支出	△9,923	△15,007
自己株式の取得による支出	△68	-
新株予約権の行使による株式の発行による収入	1,104,991	-
配当金の支払額	△80,800	△112,190
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>704,389</b>	<b>△117,726</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	50,846	148,679
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	345,534	448,093
現金及び現金同等物の期首残高	1,135,382	1,307,592
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,480,917	1,755,686

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

前事業年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期について、2023年3月期末までには収束に向かうものと仮定し、会計上の見積り(主に繰延税金資産の回収可能性)を行っており、重要な変更はありません。

なお、会計上の見積りについては、実績及び中・長期計画を含む将来に関する情報に基づき適切に算出しておりますが、予測不能な前提条件の変化により当該見積りに変動が生じた場合には、当社グループの財政状態や経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

当社及び国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示について、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。)に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループの報告セグメントは、水晶製品事業のみであり、その他の電子部品事業の重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。